

微分積分学第一 (8)

山田光太郎

kotaro@math.titech.ac.jp

<http://www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2014/calcl/>

2014.06.04 (2014.06.11 訂正)

最初の授業でお知らせしましたように

2014年6月25日(水)
中間試験

を行います。

皆様おさそいあわせの上おいでください

ご意見から

ご意見 あの教室は飲食禁止ですか？

コメント はい

ご意見 高校に比べて進度が速く，演習の比率が少ない気がします．
(微積演習を含めても)．

コメント だから自学自習の時間が必要なんですね．1単位を得るためには45時間の学習が必要です．

大学設置基準 (21条)

ご意見 テストが不安ですね．

コメント こわがらなくていいよ ♡

ご意見から

- ご意見** 演習の**回答**を探すのに徹夜しました．どう責任をとってくださるのですか!?
- コメント** **回答**はどこにもありません．解答らしきものはありますが．
- ご意見** 問題の答えがみつかりません．できれば2週間後になったら答えを配って下さい．
- コメント** 嫌です．もう見つけた人がいるわけで，その情報をどうしてクラスで共有できないんですか．
- ご意見** 授業楽しいっす（迫真）
- コメント** 迫っているけど真じゃないのね．

質問

Q: 一次関数を除けば全てなめらかな曲線なのでしょうか。

A: 一次関数って曲線だったんですか？ 一次関数の**グラフ**は（この講義の意味で）なめらかな曲線ですが。

「全て」って何ですか。どの範囲で「全て」っていっていますか？

「グラフと関数を区別せよ」

「のぞいて全て、というときは考えている対象の範囲を限定せよ」いうのは

Q: 例の問題の $y = 0$ の点の分母が 0 となって微分できないのは**図形を回転させて微分**しても大丈夫ですか？

Q: 例に挙げられた楕円は $y = 0$ の点では分母（山田注：何の分母だ？）が 0 になって微分できないとのことですが、**図形を 90° 回転させて微分出来なかった点を微分**して求めたものは元の点を微分したものと扱って良いのですか？

A: **図形を微分？ 点を微分？**
微分するのは関数！

質問から

- Q: (質問用紙の内容をみて) 今年の2ルイの学生のイメージをひとことをお願いします!
- A: 2類のクラスを担当するのは初めてなので「今年の」2類といわれても困るんです.
- Q: 数学科の方々は皆山田先生のような人なのですか? (悪口ではもちろんなく)
- A: 皆山田のように普通の人です.
- Q: 先生は何をキッカケで“変態悪魔”と化したのですか?
- A: さいしょから?

質問から

Q: 陰関数の微分公式

$$\varphi'(x) = -\frac{F_x(x, \varphi(x))}{F_y(x, \varphi(x))}$$

について，分母の「 $F_y(x, \varphi(x))$ 」をどうやって計算するのかがわかりません． $F(x, \varphi(x))$ は x だけの式ですが，それを y 方向に偏微分するというのはどういうことでしょうか．

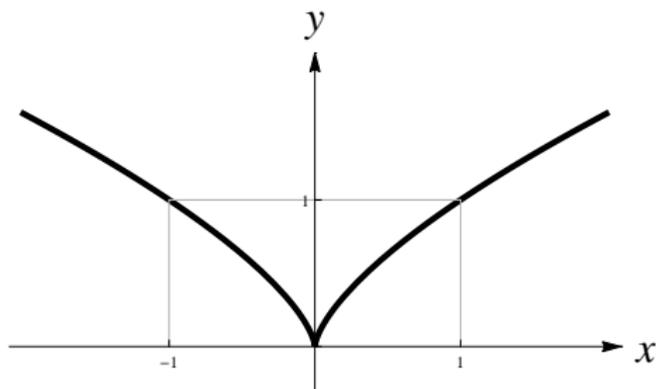
A: たしかにわかりにくい部分ですね． $F(x, y)$ の y に関する偏導関数 $F_y(x, y)$ を計算して， y に $\varphi(x)$ を代入するという意味です．

7-1

$$C = \{(x, y) \mid F(x, y) = 0\}$$

$$F(x, y) = x^2 - y^3, \quad F_x = 2x, \quad F_y = -3y^2$$

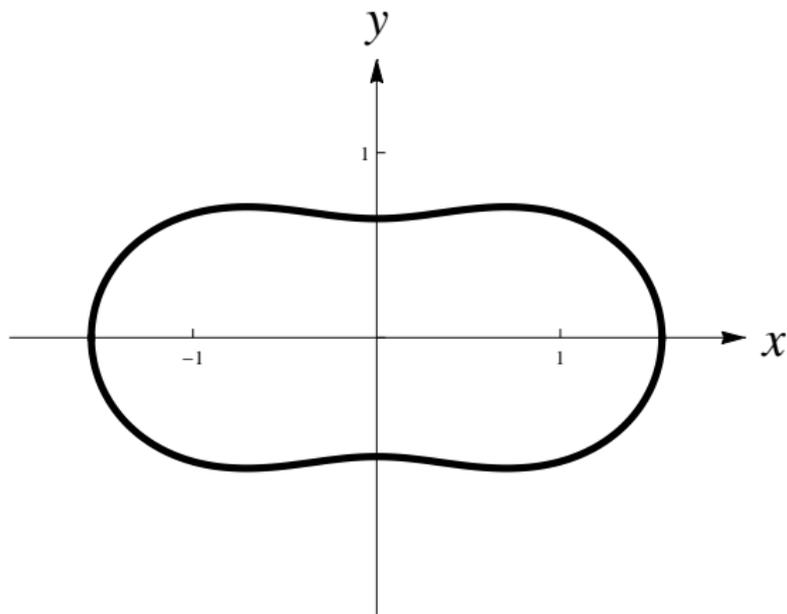
- $(0, 0) \in C$ 以外の点では $(F_x, F_y) \neq (0, 0)$
- 原点以外の点の近くでなめらかな曲線



7-4: Cassinian Oval

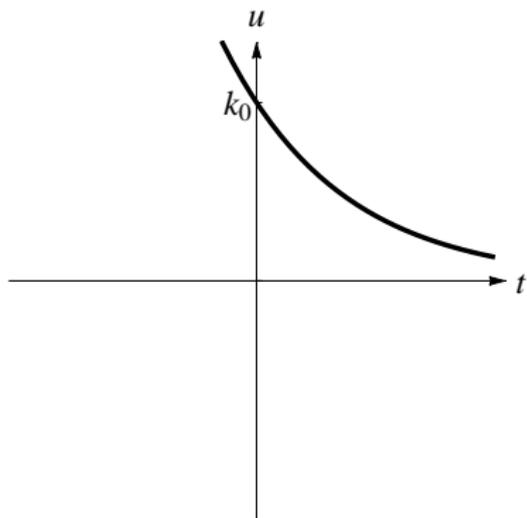
$$F(x, y) = 2(x^2 - y^2) - (x^2 + y^2)^2 - a, \quad C = \{(x, y) \mid F(x, y) = 0\}$$

$$a = -1$$



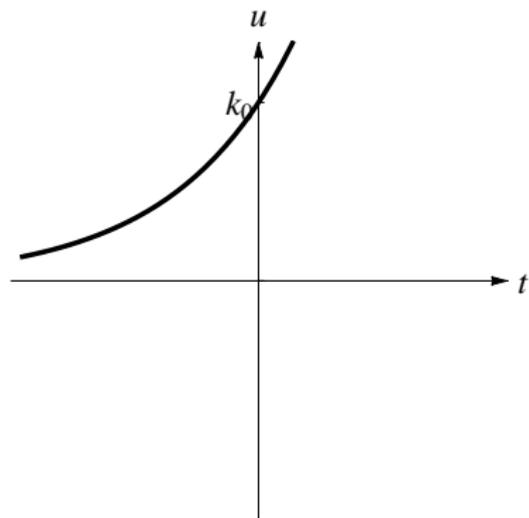
例 8.1

$$\frac{du}{dt} = -\lambda u, \quad u(0) = k_0 \quad (\lambda > 0); \quad u(t) = k_0 \exp(-\lambda t)$$



例 8.1

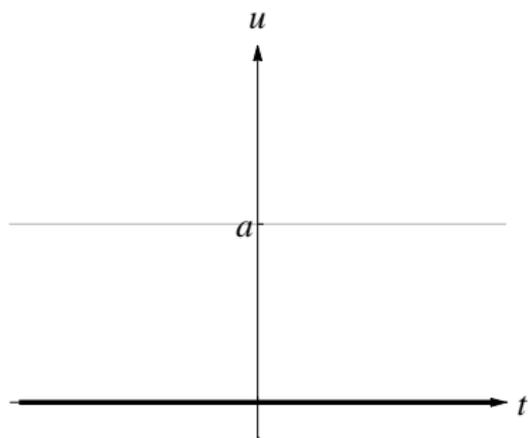
$$\frac{du}{dt} = \lambda u, \quad u(0) = k_0 \quad (\lambda > 0); \quad u(t) = k_0 \exp(\lambda t)$$



例 8.2: ロジスティック方程式

$$\frac{du}{dt} = \lambda u(a - u), \quad u(0) = u_0 \quad (\lambda, a > 0);$$

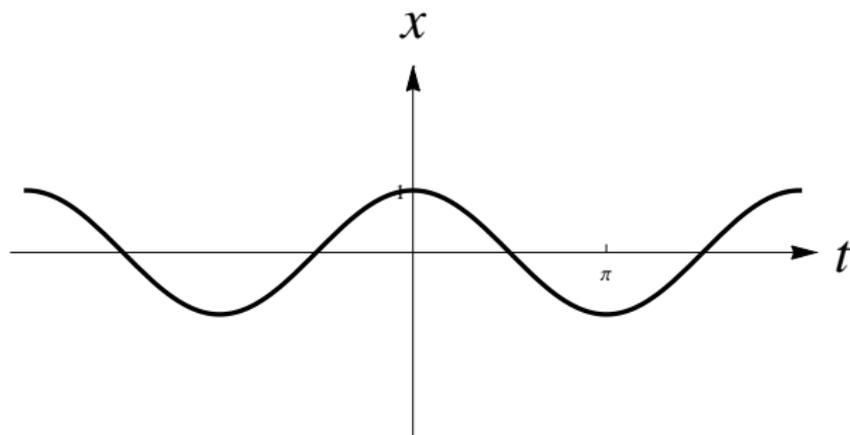
$$u(t) = \frac{au_0}{u_0 + (a - u_0)e^{-a\lambda t}}$$



例 8.3; 問題 8-2; ばねの方程式

$$\frac{d^2x}{dt^2} + \gamma \frac{dx}{dt} + \omega^2 x = 0, \quad x(0) = a, \quad \frac{dx}{dt}(0) = b; \quad (\gamma = 0)$$

$$x(t) = a \cos \omega t + \frac{b}{\omega} \sin \omega t$$

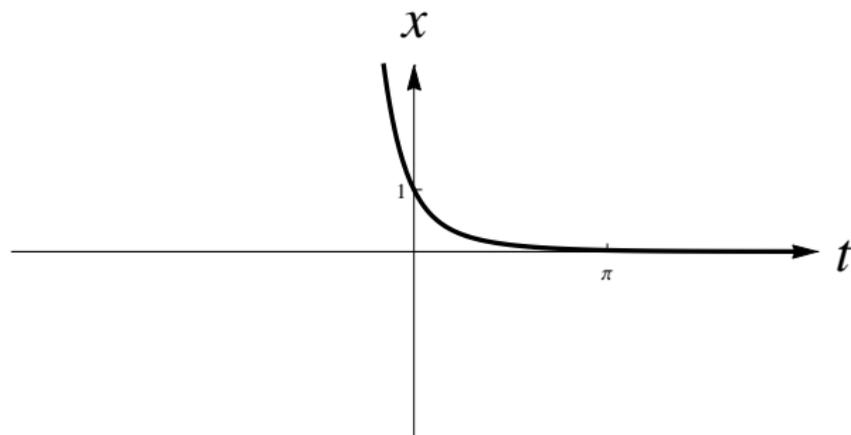


$$\gamma = 0, \quad \omega = 1, \quad a = 1, \quad b = 0$$

例 8.3; 問題 8-2; ばねの方程式

$$\frac{d^2x}{dt^2} + \gamma \frac{dx}{dt} + \omega^2 x = 0, \quad x(0) = a, \quad \frac{dx}{dt}(0) = b; \quad (\gamma^2 - \omega^2 > 0)$$

$$x(t) = e^{-\gamma t} \left(a \cosh \mu t + \frac{b + \gamma a}{\mu} \sinh \mu t \right), \quad (\mu = \sqrt{\gamma^2 - \omega^2})$$

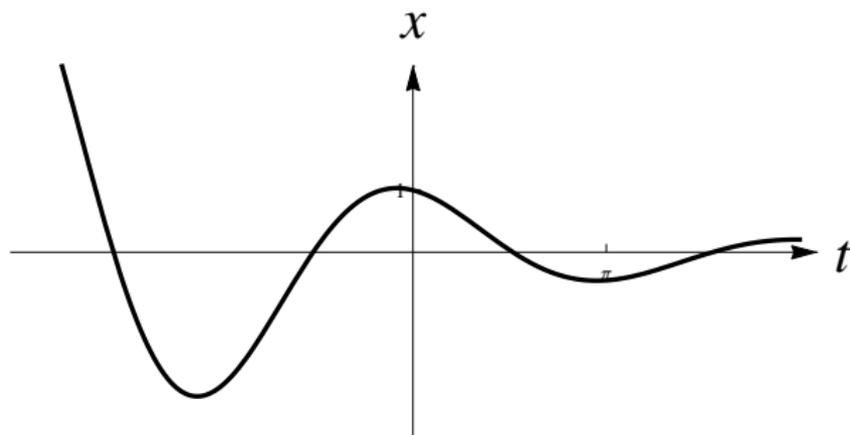


$$\gamma = 2, \quad \omega = 1, \quad a = 1, \quad b + \gamma a = 0$$

例 8.3; 問題 8-2; ばねの方程式

$$\frac{d^2x}{dt^2} + \gamma \frac{dx}{dt} + \omega^2 x = 0, \quad x(0) = a, \quad \frac{dx}{dt}(0) = b; \quad (\gamma^2 - \omega^2 < 0)$$

$$x(t) = e^{-\gamma t} \left(a \cos \mu t + \frac{b + \gamma a}{\mu} \sin \mu t \right), \quad (\mu = \sqrt{\omega^2 - \gamma^2})$$

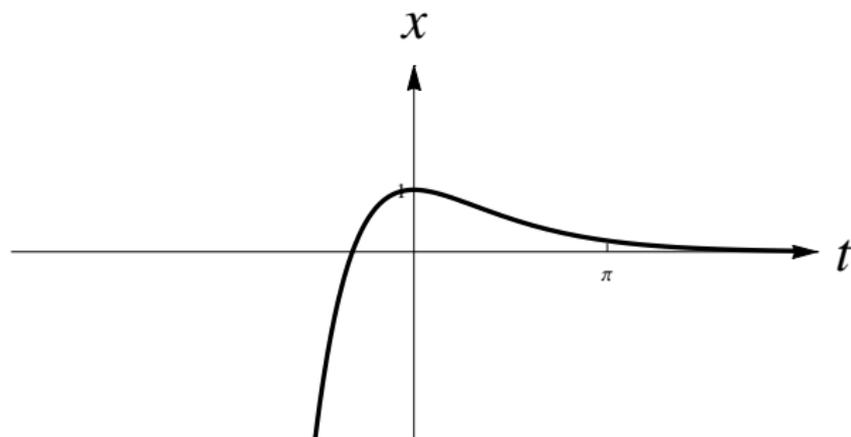


$$\gamma = \frac{1}{4}, \quad \omega = 1, \quad a = 1, \quad b + \gamma a = 0$$

例 8.3; 問題 8-2; ばねの方程式

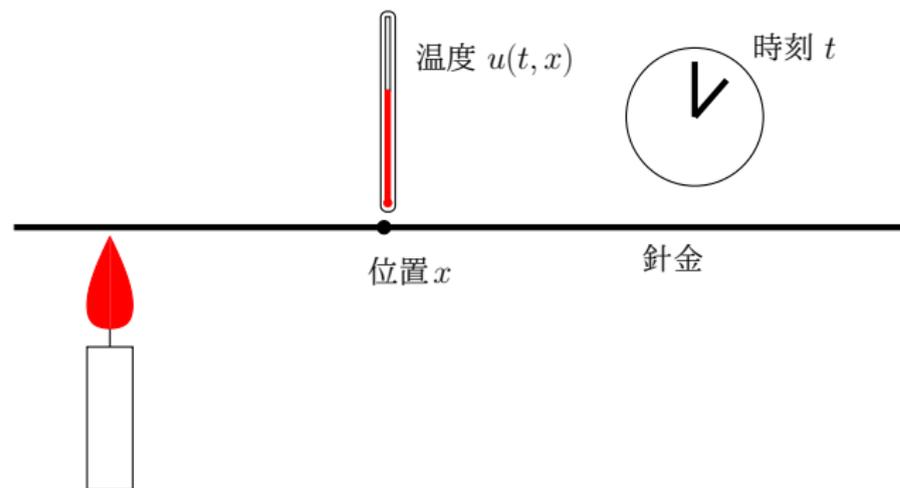
$$\frac{d^2x}{dt^2} + \gamma \frac{dx}{dt} + \omega^2 x = 0, \quad x(0) = a, \quad \frac{dx}{dt}(0) = b; \quad (\gamma^2 - \omega^2 = 0)$$

$$x(t) = e^{-\gamma t} (a + (b + \gamma a)t) \quad (\mu = \sqrt{\omega^2 - \gamma^2})$$



$$\gamma = 1, \omega = 1, a = 1, b + \gamma a = 1$$

熱方程式



$$\frac{\partial u}{\partial t} = c \frac{\partial^2 u}{\partial x^2}$$

$c = 1$ の場合 (問題 2-2 参照)

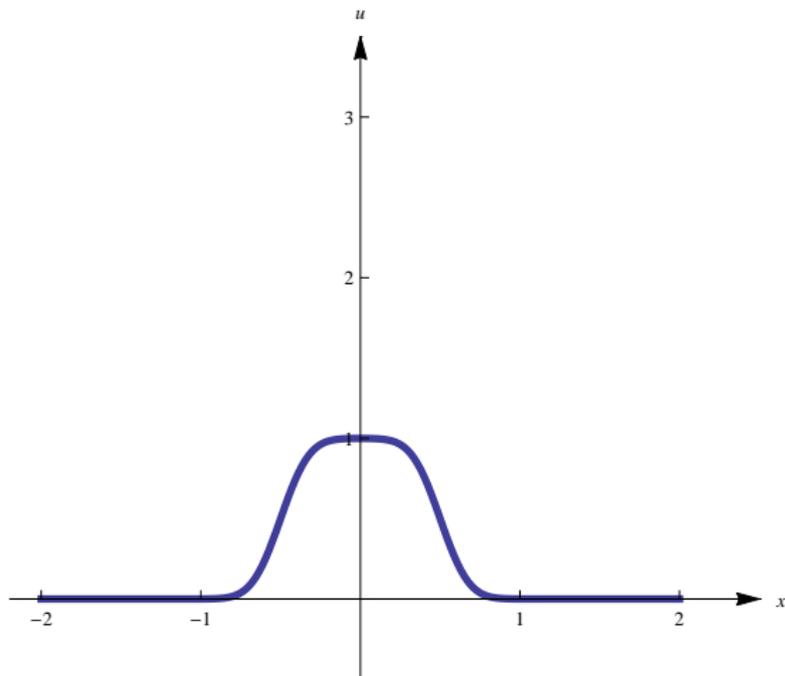
$$u_0(t, x) = \frac{1}{\sqrt{t}} \exp\left(-\frac{x^2}{4t}\right) \Rightarrow \frac{\partial u}{\partial t} = \frac{\partial^2 u}{\partial x^2}; \quad \int_{-\infty}^{\infty} u_0(t, x) dx = 1$$

グラフ; Gauss

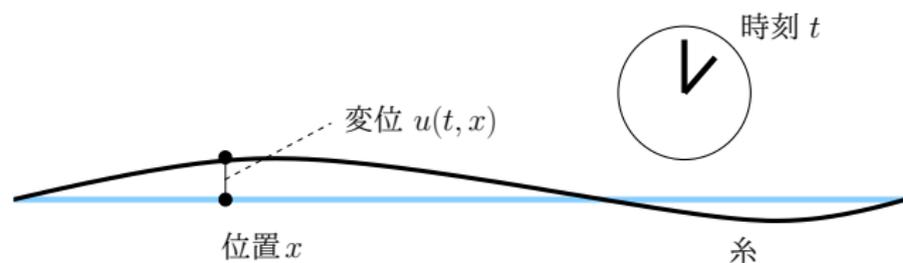
熱方程式

62 ページの例

$$u(t, x) = \int_{-\infty}^{\infty} u_0(t, x - y) f(y) dy \Rightarrow \frac{\partial u}{\partial t} = \frac{\partial^2 u}{\partial x^2}.$$



波動方程式



$$\frac{\partial^2 u}{\partial t^2} = c^2 \frac{\partial^2 u}{\partial x^2}$$

一般解 (d'Alembert の解 ; 問題 6-2)

$$u(t, x) = F(x - ct) + G(x + ct)$$

$c = 1$ の場合 (問題 2-3)

- $u(t, x) = \sin(t + x)$ ☒ a
- $u(t, x) = \sin(t - x)$ ☒ b
- $u(t, x) = \sin(t + x) + \sin(t - x)$ ☒ c

James Clerk Maxwell (1831–1879)

最初の授業でお知らせしましたように

2014年6月11日(水)

中間試験予告

を行います。

皆様おさそいあわせの上おいでください